

豊加美幼・小だより

平成29年2月10日発行
NO.10

教育目標

自ら学び、心豊かで
たくましく生きる
豊加美の子
一人一人の個性が輝き、
ともに伸びゆく学校

児童の姿

- ① もに学び合う子
- ② いところを認めあえる子
- ③ からだをきたえる子
- ④ みんなで協力して働く子

地域とともに

1月30日(月)の「地域と連携した避難訓練」実施にあたり、代表区長さんや地域教育推進委員の皆さんをはじめ、地域の皆さんにも多数ご参加いただきましたこと、心より感謝申し上げます。本校では初めての取組だったので、手探り状態での実施だったのですが、代表区長の皆さんが快く後押ししてくださり、今後につながる大変有意義な取組となりました。子供たちを大切に思う豊加美地区の地域の力を実感したひとときであり、今後も“地域の学校”として、より一層連携を深めながら子供たちの健やかな成長につなげていきたいと考えています。

まだまだ寒い日が続きますが、校庭の木々の芽も少しずつふくらんで春の訪れまでもう少し。学校もいよいよ卒業式に向けて動き出しました。各学年とも今年度のまとめをしっかりと行い、夢や希望をもち、自信をもって次のステップへ踏み出せるようにしていきたいと思っています。

(豊加美小学校長 中條 美恵)



校内書き初め会

13日(金)に書き初め会を行いました。1・2年生は硬筆で、3年生以上は毛筆で、一字一字に心を込めて書き初めをしました。どの教室でも、真剣に、力いっぱいに書いている姿を見ることができました。

た。条幅いっぱいの大きな字、元気あふれる字、真ん中に堂々と書いた字など、作品はそれぞれ違って、その子らしさが出ていました。



1年

なかよくあそぶ



2年

何にでもチャレンジ



3年

お正月



4年

美しい空



5年

新春の光



6年

伝統を守る

地域との連携による避難訓練

1月30日(月)下妻消防署員や本校消防設備協会点検業者の皆さんの指導のもと、地震からの火災発生を想定して地域との連携による避難訓練を行いました。当日は、豊加美小学校地域教育推進委員の皆さんや豊加美地区代表区長の皆さんをはじめ、豊加美地区の地域の皆さんにも避難訓練を参観していただきました。また、茨城県に一台しかない地震体験車(起震車)を借用して、幼稚園児も含めたすべての子供たちが地震体験をすることができました。震度6や震度7を体験した児童の感想は以下のとおりです。

- ① 頭を守ることが大切だということがわかりました。
- ② 自分のことは自分で守ることがわかりました。
- ③ ゆれが強くてびっくりしました。ゆれがおさまるまで、机の下などに 入ってシェイクアウトの姿勢をとることが大切だということがわかりました。



災害はいつ起こるか分かりません。今後も地域との連携を密にして、自分の命は自分で守れる豊加美の子供たちを育てていきたいと思っています。



トイレの使い方指導

トイレの使い方について、1~4年生を対象に養護教諭が保健指導を行いました。和式でも洋式でも上手に使えるようにして、みんなが安心して使えるきれいなトイレにしたいと思っています。また、学校のトイレで大便をすることも自然のことで、そのことで友達をからかったりしてはいけないことも併せて指導しました。



盲導犬(ウイズ)体験学習

1月24日(火)に3年生が福祉教育の一環として盲導犬と一緒に生活している小林まさ江さんから話をお聞きしました。盲導犬の働きや目の不自由な人の立場を知ることができ、有意義な体験となりました。

